

(全国統一安全就業スローガン 平成29～31年度)

「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」
 ・地域に活かそう 豊かな知識と経験を！ ・あなたと歩む 地域と生きる

39号

静岡県シ連だより



ユネスコは、2018年4月17日、パリのユネスコ本部で開いた第204回ユネスコ執行委員会で、伊豆半島ジオパークをユネスコ世界ジオパークとして認定しました。(三四郎島・大室山 他)

📷 静岡県観光協会

第39号 も く じ

●会長挨拶	2
●第38回定時総会、連合会主要事業ポイント	2
●連合会新役員の紹介	3
●会員拡大～第2次会員100万人達成計画の推進	3
●就業開拓・会員拡大推進員の取組み	4
●普及啓発促進月間・シルバーの日のセンター活動	4・5
●「臨・短・軽」要件の緩和による業務拡大	6
●高齢者活躍人材育成事業	6
●安全・適正就業推進事業・担当者研修会	7
●安全就業巡回パトロールの報告・シルバー指導事業	8
●編集後記	

発 行 者

(公社)静岡県シルバー人材
センター連合会

〒420-0851

静岡市葵区黒金町5番地の1
(静岡県勤労者総合会館4階)

TEL (054) 254-7240

FAX (054) 205-4540

E-mail shizuren@abelia.ocn.ne.jp

発行日 平成31年2月1日

発行人/勝 又 武 利

編集人/増 田 久 幸

会員の皆様へ



静岡県シルバー人材

センター連合会

会長 勝 又 武 利

(沼津市SC)

会員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

我が国人口は、平成二十年をピークに長期減少過程に入り、平成三十年五月には一億二六四六万人と、十年間で約百六〇万人減少し、その減少幅は拡大しています。

こうした人口減少などを背景に、人手不足の時代に突入しており、静岡県の有効求人倍率も一・六倍台を維持しているなど、産業界における人手不足は深刻な状況にあることから、シルバー人材センターへの期待は大変大きくなっております。

しかしながら、仕事を担う県内の会員は平成二十二年度をピークに減少を続け、平成二十九年度末は二一、三二六人と、七年間で約一割減少しており、この傾向は全国のシルバー人材センターにおいても同様の状況になっています。

この状況を打開し、全国の会員七十一万四千人を平成三十六年度までに百万人に増やすため、全国のシルバー人材センターの総意により「第二次会員百万人達成計画」を策定し、県内においても、一人一会員入会活動、広報啓発活動などを積極的に推進しているところ

です。
引き続き、会員の皆様には、これまでに培われた技術や経験を活かしながら安全で適正な就業に努められるとともに、喜びや生きがいを感じ、新しい仲間づくりを進めるなど、シルバー人材センターに対して積極的なご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

第三十八回 定時総会

場所…静岡県勤労者総合会館大ホール 開催日…平成三十年六月二十五日

勝又武利会長挨拶の後、来賓として静岡労働局職業安定部長様、静岡県経済産業部長代理様からご祝辞、また、多くの方々から祝電、メッセージをいただきました。

次に、三島市SCの小池孝司理事長を議長に選出し、平成29年度事業報告及び決算、役員の改選について審議いただき、全会一致で承認されました。

その後、役員表彰が行われ、県シ連の事業推進等に寄与された大井市郎理事(藤枝市SC)に表彰状、大石金苗理事(島田市SC)、松下重光理事(御前崎市SC)、横山静雄監事(菊川市SC)に感謝状が授与されました。

また、役員研修会を開催し、「人生いつでも挑戦！生活・仕事をしていく上での法律」を演題に、あさ法律事務所弁護士朝比奈均様に講演をしていただきました。



平成三十年度 主要事業のポイントと取組状況

三十年度は、本年度策定する連合会の「シルバー事業推進計画」(中長期計画)に基づき、会員拡大、就業開拓、人材育成のほか、請負を主体としつつ派遣事業・職業紹介事業を推進することとしました。

① 会員の確保拡大

「第二次会員一〇〇万人達成計画」に基づく本県の会員拡大計画の目標に向け会員の確保拡大を図る。就業開拓・会員拡大推進員3名を配置(四月)

② 安全就業の推進

安全・適正就業推進研修会の開催(七月)、安全・適正就業巡回訪問の実施(九月～十月)など

③ 適正就業と派遣事業への取り組み推進

「適正就業ガイドライン」を活用した請負事業の点検、センターの集合指導(十月)、派遣実務担当者研修会(四月)と派遣事業システム研修会(七月)の開催など

④ 高齢者活躍人材育成事業

人手不足分野や現役世代を支える分野への就業を促進するため、技能講習を実施(四月)

⑤ 普及啓発事業

シルバーの日に県下一斉普及啓発の実施、普及啓発促進月間を中心とした活動推進(九月から十一月)、会報「県シ連だより」の発行(二月)など

⑥ 調査研究事業

シルバー人材センター概要の作成(七月)、安全就業を徹底するための取組みに関する調査など

連合会新役員の紹介（平成30年 6月25日現在）

6月25日の第38回定時総会において、連合会の新役員が選任されました。

なお、任期は32年の定時総会終結の時までとなります。

役員区分	氏 名	所属シルバー	役員区分	氏 名	所属シルバー
理事長	勝又武利	沼津市 S C	理事	橋本正弘	伊豆の国市 S C
副理事長	瀧本典彦	浜松市 S C	理事	深田 勝	焼津市 S C
理事	関 清司	静岡市 S C	理事	和田輝夫	掛川市 S C
理事	都筑英樹	富士市 S C	常務理事	増田久幸	静岡県シ連
理事	永田 進	袋井・森地域 S C	監事	北堀勝治	吉田町 S C
理事	西村 透	川根本町 S C	監事	小林敏彦	裾野市 S C

一緒に活躍する仲間を増やして会員100万人を目指そう

◎シルバー人材センターの会員になると…

第2次会員100万人達成計画

・社会参加で健康寿命が伸びる

心身ともに健康で自立して生活できる期間である健康寿命は、静岡県は男性72.2歳、女性75.4歳で、全国トップクラスの健康長寿県です。この年齢を伸ばすためには、食生活、運動、社会参加が大切であると言われており、シルバー人材センターを通じた社会参加により健康寿命を伸ばしましょう。

・仕事を通して人の喜ぶ顔が見え、誇りを持てる

子育てや介護・福祉分野の仕事、公園管理など、住民の身近な生活に関わる業務によって、人が喜ぶ顔が見え、シルバーの仕事に誇りが持てるようになります。

・これまでの経験を活かし、能力を発揮できる

シルバー人材センターには高齢者に相応しい仕事がありますので、高齢者が会員となって、その知識、技能、経験を地域社会に役立てることができます。

◎なぜ、会員100万人達成計画

- ・平成7年当時は33万人の会員でしたが、働く意欲と能力があれば、シルバー会員となって地域社会で活躍できるよう100万人会員を打ち出していました。
- ・平成26年に、29年度までの4年間で期間とする100万人達成計画を策定し、取り組んできました。しかし、定年延長などがあり、会員は減少しました。
- ・現在、人口減少が続く中で、シルバーへの地域経済・社会の期待がさらに大きくなっていることから、全国のシルバー人材センターの総意として、30年度から36年度までの7年間で71万人会員を100万人に増大する「第2次会員100万人達成計画」を策定しました。

◎身近な人から誘ってみよう

- ・1人1会員入会活動を進め、配偶者、友人、近所の知人を誘いましょう。
- ・啓発活動やボランティア活動によるシルバー人材センターのPRを行う。
- ・趣味、健康、スポーツ等の活動による魅力あるセンターづくりを推進する。



シルバー人材センター

「第2次会員100万人達成計画」推進静岡県下一斉普及啓発Day実施

静岡県シルバー人材センター会員数の推移

(単位：人、％)

	静岡県			全国	
	会員数	対前年比	平均年齢	会員数	対前年比
21年度	23,074	105.8	70.7	791,859	103.6
22年度	23,355	101.2	70.7	786,906	99.4
23年度	22,760	97.5	70.8	763,427	94.7
24年度	22,529	99.0	71.0	743,969	97.5
25年度	22,228	98.7	71.3	720,206	98.0
26年度	21,679	97.5	71.6	721,712	99.0
27年度	21,767	100.4	71.9	720,948	99.9
28年度	21,613	99.3	72.3	718,375	99.6
29年度	21,326	98.7	72.7	713,746	99.4

* 静岡県の60歳以上の高齢者に占める会員の割合 1.6％（男性 2.4％、女性 1.0％）

「シルバー人材センター普及啓発促進月間」である10月を中心に、シルバー人材センター会員がボランティアによる社会奉仕活動、シルバーの普及啓発活動を展開しました。

また、「第2次会員100万人達成計画」の初年度であることから、初めての試みとして、シルバーの日の10月20日(土)に、県内全市町で一斉に普及啓発活動を実施しました。

- ①メディアによる事業紹介等普及啓発PR
- ②公共施設周辺、公園、道路の清掃・除草・剪定等の奉仕活動
- ③地域イベントでの広報・普及啓発活動・清掃奉仕等
- ④広報紙等での普及活動



就業開拓・会員拡大推進員の精力的活動

昨年四月から三人の就業開拓・会員拡大推進員が県内の東・中・西部地域を分担し、就業開拓、会員拡大の活動を進めています。

シルバー人材センターでは、「仕事の依頼はあるが、それを担う会員がいない」或いは「会員の希望する仕事がない」などの声が上がっていたため、推進員は、仕事の拡大・開拓と会員拡大の両方をテーマに、企業訪問、ハローワーク等との情報交換、広報・啓発など、精力的な活動を行っています。

その活動の一端をお知らせします。

東部地域担当の太田推進員は、一年間を効率よく効果的に活動するために、まず、年度初めに各センターを訪問し、センターが考えている仕事の開拓先、会員を確保するための方法などを把握・調整し、年間計画を立てて広い地域を順に攻略しています。

また、従前の仕事の知識や経験を活かしながらハローワークや高齢者の集まる公民館なども積極的に訪問しています。

中部地域担当の寺本推進員は、各センターの就業開拓や会員募集の方法について聴き、実際に体感することによって、各センターの特徴を把握しています。

そして、センターを並べて視ることができたため、入会説明会↓面談↓入会等についてスムーズな流れを作っているセンターの手法を他センターへ紹介するなど、効果的と思われる方法を波及させることにも気を配っています。

西部地域担当の大谷推進員は、センターとの情報の共有、信頼関係の構築等に心掛け、センターの意向に沿った、寄り添えるような活動をしています。

このコンセプトを大切にしながら、推進員の従前の仕事により蓄積している企業や地域の情報とネットワークを活用し、企業やハローワーク、さらに地域経済団体等を精力的に訪問しています。

推進員の活動は、対人関係が基本であり、ストレスも多い仕事ですが、今後とも、会員の皆様に希望する仕事に就いていただくため、また、仕事の依頼に対応できるよう新たな会員の確保に努めていきます。

【10月20日：一斉普及活動実施場所と状況】

センター名	実施場所		センター名	実施場所	
三 島 市	JR三島駅南口		静 岡 市	JR静岡駅	
伊 東 市	アピタ伊東店 カインズホーム伊東店 カインズホーム伊豆高原店		焼 津 市	JR焼津駅北口/南口、JR西焼津駅北口/南口、ヒパリや小土店、富士屋焼津南店、イオン焼津店、combo大井川	
函 南 町	函南町「ふれあい広場」 (20～21日)		掛 川 市	くるみ幼稚園・掛川こども園・葛ヶ丘保育園・三笠幼稚園・幼保園こども広場あんり	
小 山 町	ポテト小山店 マックスバリューストア小山店		湖 西 市	遠鉄ストア、クックマート、パレマルシェザ・ビッククック	
松 崎 町	松崎町役場前		御前崎市	カインズホーム	
富士宮市	富士宮市役所		島 田 市	アピタ島田店	
富 士 市	ユーコープ富士中央店・イオン富士南店		藤 枝 市	蓮華寺池公園	
御殿場市	マックスバリューストア御殿場原里店		牧之原市	バロー静波店、スーパーラック本部	
裾 野 市	フェスタすその（兼）市民文化センター		吉 田 町	吉田町学習ホール	
伊 豆 市	マックスバリューストア修善寺駅前店		川根本町	川根本町シルバー人材センター事務所前	
伊豆の国市	韮山福祉保健センター		浜 松 市	JR浜松駅、FMハローにて「入会促進」のCM放送	
熱 海 市	熱海市内清水橋		磐 田 市	ひと・ほんの庭 にこっと（旧豊田町図書館）	
清 水 町	柿田川公園周辺		袋井・森地域	袋井市・森町のスーパーマーケット	
長 泉 町	長泉町文化センター		菊 川 市	遠鉄ストア菊川店・フードマーケット マム小笠店・FMハローにて「入会促進」のCM放送	
沼 津 市	JR沼津駅（北・南口）		西伊豆町	（ふれあい広場）賀茂幼稚園	
下 田 市	マックスバリューストア伊豆下田店		南伊豆町	南伊豆町シルバー人材センター事務所前	

スーパーマーケットや介護施設などでは 週20時間を超えて働くことができるようになりました

◎シルバー人材センターの働き方

会員は、臨時的、短期的、軽易な仕事に就業しますが、これは月10日、週20時間以内とされています。
しかしながら、人手が不足している分野で県知事が指定した業種、職種では、派遣、職業紹介に限り週40時間まで働くことができるようになりました。

◎週20時間を超えて働くことができる業種等

平成30年 7 月 1 日の知事の指定により、下表のスーパーやコンビニでの販売や清掃、保育所や介護施設での送迎車運転などで週20時間を超えて働くことができるようになりました。

業 種	職 種	具 体 例
各種商品小売業 飲食料品小売業 その他の小売業	商品販売、製品販売・加工処理業、清掃の職業 その他の清掃・運搬・包装等の職業	<u>就業場所</u> スーパーマーケット、ホームセンター など <u>就業内容</u> 販売・レジ打ち、弁当・惣菜の製造等、店舗清掃 など
学校教育 社会保険・社会福祉・介護事業	家庭生活支援サービスの職業 介護サービスの職業 自動車運転の職業 清掃の職業	<u>就業場所</u> 保育所・こども園、介護施設、高齢者福祉施設 など <u>就業内容</u> 家事援助・送迎車運転 など

◎雇用保険等への加入

週20時間以上働く場合、雇用保険の適用があります。ただし、64歳以上の方の保険料は平成31年度分まで免除です。
また、当面週29時間までの就業を予定しており、就業に伴う厚生年金や健康保険の適用はありません。

高齢者活躍人材育成事業（育成技能講習）

高齢者活躍人材育成事業は、全国的に人手不足が深刻となっている介護、保育分野を中心に、各地域における人手不足分野等において、シルバー人材センターで活躍する高齢者を育成する事業です。シルバー人材センターが高齢者に対し、人手不足分野等で就業する機会を円滑に提供できるようにするもので、当該分野での就業に必要な能力を身につけていただくための技能講習等を静岡県シルバー人材センター連合会が静岡労働局から受託して実施しているものです。

【講習別状況】

H30.11末現在

区 分	講 習 名	講習数 (回)	申込者 (人)	開始者 (人)	修了者 (人)	申込者 対受講率	開始者 対修了率	男女別修了者(人)		修了者 平均年齢(歳)
								男性	女性	
介護・福祉	生活支援家事援助	1	10	9	9	90.0%	100.0%	1	8	69.2
	生活支援介護予防	3	27	23	21	85.2%	91.3%	7	14	68.8
	介護職員初任者	1	11	8	8	72.7%	100.0%	5	3	65.8
	介護施設調理補助	3	22	19	19	86.4%	100.0%	1	18	70.8
	介護施設接遇	1	11	10	10	90.9%	100.0%	4	6	71.7
育児・子育て	子育て支援	4	44	44	40	100.0%	90.9%	3	37	67.6
	学童保育支援	2	42	40	36	95.2%	90.0%	12	24	68.4
サービス業	マンション管理人養成	1	76	24	24	31.6%	100.0%	20	4	66.2
	介護施設・事業所等清掃	1	24	24	24	100.0%	100.0%	16	8	70.6
	介護施設送迎運転	4	56	54	37	96.4%	68.5%	30	7	68.6
	福祉有償輸送運転	2	64	53	48	82.8%	90.6%	46	2	66.7
警備業	施設管理駐車場整理	2	19	17	17	89.5%	100.0%	17	0	72.1
総 計		25	406	325	293	80.0%	90.2%	162	131	68.5

安全・適正就業推進事業

(安全就業スローガン) 「危険だと 気付く気持ちが 事故防ぐ」「危ないぞ 言える勇気と 聞く心」

安全・適正就業推進委員会において、安全・適正就業推進研修会や安全就業パトロールを企画・実施し、事故撲滅に向けた取組みを進めています。

安全・適正就業推進研修会

- ・日時 七月十日(火)
- ・場所 静岡県勤労者総合会館大ホール
- ・参加者 一三〇名

●基調講演1

(テーマ) 「災害ゼロを目指す安全活動」

(講師) (株)インテリクス総研

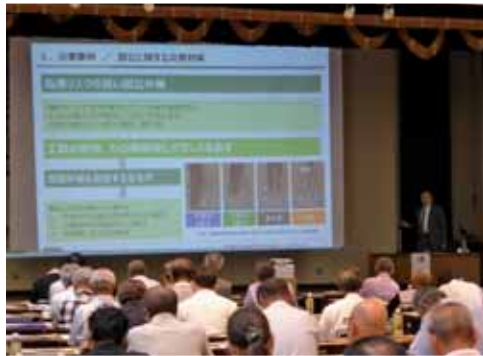
下江 真 様

(内 容)

1. 労災に関する現状
2. 墜落・転落災害を考える
3. 労災発生のメカニズム
4. 労災事故防止にむけた管理監督者の役割

役割

《役割》 安全意識の低い人↓安全意識を高めさせること
危険感受性が低い人↓危険感受性を高めさせること



《主な安全活動》

- ① 挨拶 ② 良好な人間関係の構築 ③ 安全ルールの遵守 ④ 正しい作業服、保護具の着用 ⑤ 5S活動 ⑥ ヒヤリ・ハット活動 ⑦ 危険予知活動 ⑧ リスクアセスメント

5. ヒューマンエラー対策

※「ほめる」ことの重要性

6. 高齢者の安全対策

- ※高齢者の作業3原則
- 見やすく…大きく・明るく・目の高さ
- 聴きやすく…大きな声ではっきりと・聞き返す習慣・紙に書く
- 疲れにくく…作業姿勢・作業方法・作業時間・熱中症対策・収納・運搬

7. 安全の目的

※「安全の目的」とは
働く人を五体満足で家族のもとへ帰すこと。そして自らも帰ること。

8. まとめ

- ※三位一体の取り組みが重要である
- ①経営トップの決意
- ②管理監督者の熱意、率先垂範
- ③全員参加による活動推進

●基調講演2

(テーマ) 「シルバー人材センターにおける自転車事故状況と事故防止対策について」

(講師) (二財)日本自動車普及協会
自転車文化センター 谷田貝 一男様

(内 容)

高齢者の自転車事故 概要

- 自転車の交通ルール違反
- 他人の交通ルール違反により巻き込まれるケース
- 運転操作・バランス調整ミスによる転倒事故
- 自転車の乗り方とふらつき

自転車利用時の事故防止指導について

1. 使用している自転車のチェック指導
2. 出発時のペダルの位置指導
3. 走行時のふらつきチェック指導
4. ふらつきがみられる時の指導
5. 周囲確認・転倒防止、傷害減少の指導

《まとめ》

- 加齢に伴う身体機能の低下の認識
- 身体と自転車との不適合
- 間違った運転方法の継続

「安全就業巡回パトロール」の報告

安全・適正就業推進委員会において、平成28年度から 3 年間で全34SCに対して「安全就業パトロール」を実施することを決定し、本年度は、9 月から10月にかけて 8 SCで実施しました。

センター名	内 容	センター名	内 容
南伊豆町	 平成30年 9 月10日(月) 青野川 請負 河川敷草刈作業	下 田 市	 平成30年 9 月11日(火) 爪木崎公園 請負 公園修景整備
長 泉 町	 平成30年 9 月12日(水) 鮎壺公園 請負 草刈・剪定作業	小 山 町	 平成30年10月16日(火) 化学工業事業所 派遣 缶潰し、塗装作業等
御殿場市	 平成30年10月17日(水) 御殿場市水道施設 請負 草刈作業	川根本町	 平成30年10月18日(木) ウッドハウスおろくぼ 伐採・剪定作業
函 南 町	 平成30年10月19日(金) 水道施設 請負 草刈・清掃作業	清 水 町	 平成30年10月30日(火) 町の粗大ごみ置き場 派遣 粗大ごみの受付・分別作業および解体

シルバー指導事業

連合会では、シルバー人材センターを対象に、毎年度、指導事業を実施しています。この指導事業は全国シルバー人材センター事業協会が連合会の事務局長を指導担当者に委嘱して、高齢法第47条に基づいて、原則 3 年に 1 度実施するもので、指導の対象は広範になります。

これとは別に、公益法人の認可庁である静岡県（担当課：雇用推進課）が公益法人の組織運営、会計処理について適正に行われているかを検査する立入検査を実施しますので、これに合わせて同時実施しています。

また、静岡労働局が国から補助金を受けているセンターを対象に、補助金の適正執行を図るため、経理事務指導を 3 年に 1 度のペースで実施しています。

さらに、今年度は全国シルバー人材センター事業協会が連合会の定期指導（3 年に 1 度）を実施するのに合わせ、全センターを対象とした意見交換方式による集合指導も行われました。

今年度は 8 か所のセンターで県・連合会の指導検査が、また、11か所のセンターで労働局の経理事務指導が行われました。主な指導事項をご紹介しますので、各センターの今後の運営の参考にいただければと思います。

<全シ協による集合指導(意見交換)>

- 第 2 次会員100万人達成計画に基づく会員拡大計画策定状況等
- 適正就業ガイドラインの周知等の実施状況等

<県シ連指導事項>

- 安全就業に関する基本計画・実施計画を策定し、更なる安全就業の徹底
- 適正就業ガイドライン等に基づき、受注実績一覧表（請負・委任）の業務内容の確認

<県指導事項>

- 総 会
 - ・総会通知書に議案の記載漏れ
 - ・議事録に議長の議決の記載漏れ
- 理事会
 - ・代表理事、常務理事等は職務執行状況を報告
- 会員の旅費・報酬等の根拠規定の整備
- 公印台帳の作成

<労働局指導事項>

- 出勤簿、休暇簿等の訂正は見え消し
- 駐車場契約書に一部契約更新条項が欠落
- 支出科目の誤り
- 郵券使用簿の確認印漏れ
- 郵券の次年度への繰越しを最小限にするよう購入時期・購入量に留意
- 補助対象・対象外の取扱いに留意
- 補助金整理簿を作成

編集
後記

今回もお蔭様で「第39号県シ連だより」を無事に発行することができました。ご多忙の中、制作するにあたり関わっていただいた皆さんに心から感謝しています。ありがとうございました。

月日が経つのは早いもので、今年度も残すところ後わずかとなりました。今号では、今年度の振り返りを中心にお伝えしてもらいましたが、みなさんにとってどんな年だったのでしょうか？

寒さ厳しい1月はお正月行事で忙しく過ぎ去り、2月は節分で始まり、3月が終われば桜の季節です。暖かい春がもうすぐそこまで来ています。季節の変わり目です、体調に気をつけて過ごしていきたいですね。今後もよろしくお願いします。（竹内）